

地域活動 レポート

令和8年7月

No.64

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■こども園と連携した子育てサロン 安心して
参加できる場づくり（5月19日）

啓発地域の子育てサロンが、地元のこども園で開催されました。普段は啓発センターで開催されていますが、今回はこども園の園庭開放と同時開催となりました。

会場は、普段子どもたちのお昼寝部屋として使用されている一室で、長机やイスのない安全に配慮された空間となっていました。また、室内だけでなく園庭の砂場でも遊ぶことができ、子どもたちは思い思いに過ごせるようになっていました。

当日は、いつもの子育てサロンのスタッフに加え、こども園の先生も参加されていました。先生は普段の子育てサロンにも顔を出されているとのこと、保護者や子どもたちと



も自然な関係ができていた様子でした。今回、地域の子育てサロンが地元の保育施設と連携することで、安全な環境づくりだけでなく、保育士による専門的な相談にもつながりました。子育て世帯が安心して参加できる場づくりとして、参考となる取組だと感じました。なお、次回は8月にスイカ割りを用意されているとのこと。

■地域で子どもを見守る 下新庄地域「子ども
のカレー屋さん」（5月23日）

下新庄地域では、毎月第4土曜日に「子どものカレー屋さん」をさくら園で開催しています。100円でカレーがおかわり自由ということもあり、毎回約100名の参加があるとのこと。

1時頃から子どもたちが列を作る一方で、会場の入口では事前登録の確認や支払い、消毒を行い、スムーズに運営されていました。さくら園には30強の席があります。が、カレーのみの提供のため回転も早く、13時には終了するそうです。

また、下新庄北公園付近の交差点は交通量が多く危険なため、地域役員の方々が見守りを実施していました。見守りをされている方々は、普段から登下校時の見守り活動にも取り組まれており、子どもたちとも顔なじみの関係ができており、普段からの見守り活動

とのつながりも感じられました。会場入口で案内も含め、子どもたちが安心して参加できるよう地域全体で支えている様子が印象的でした。特に4月・5月は、保護者や幼児の付き添いも可能としており、新1年生や保護者に地域や会場を知ってもらう機会にもなっています。食事の提供だけでなく、見守りや交流、地域とのつながりづくりにもつながる取組として参考となる事例だと感じました。

◆地域課からのお知らせ

■子育てサロンは“ほっとできる居場所”

東淀川区役所4階にあります、東淀川区子ども・子育てプラザのホームページに、区内の子育てサロンやおやひろばなどの子育て支援施設の利用者を対象にした、アンケートの集計結果が掲載されました。

結果を見ると、利用者の多くは30代で、乳幼児を育てる家庭保育中の保護者であることが分かりました。約7割が「不安や孤独感が解消された」と回答し、また約9割が「親同士の交流や情報交換の場になっている」と感じており、子育てサロンが安心して過ごせる居場所として大きな役割を果たしていることがうかがえます。今後も、より多くの方に利用していただけるよう、地域全体で子育て家庭を支える取組を広げていくことが大切だと感じます。